

# 平成29年度 勝浦町教育基本方針

勝浦町教育委員会

## 【教育基本方針】

### 〒 一人ひとりを大切にする教育の充実、教育環境の充実、伝統文化の継承 〒

学校教育においては、「人づくりがまちづくりの基本」をコンセプトに、次世代を担う子どもたちに確かな学力、体力、郷土を愛する豊かな心を育成するため、指導体制の充実、郷土資源の活用、家庭・学校・地域の連携強化を図り、教育環境の向上を目指す。

生涯学習においては、文化やスポーツなどの活動人口が減少していることから、一人ひとりの活動意欲を高める学習環境の向上、伝統文化の継承、スポーツや文化における世代間交流の活性化を目指す。

## 【基本方針に基づく施策】

### (1)学校教育の充実

#### ①特色ある学校教育の充実

- ・学習指導要領に基づく教育の実施
- ・きめ細かな指導の実施
- ・読書活動の充実
- ・国・県学力調査の活用
- ・国際理解教育の充実
- ・情報教育の充実
- ・心の教育・人権教育の充実
- ・安全・食育・主権者等教育の推進ほか

#### ②地域との連携の充実

- ・家庭・学校・地域の連携・協力
- ・地域人材・資源の活用
- ・家庭学習の推進

#### ③教育環境の向上

- ・教職員の資質・指導力向上
- ・小・中学校の連携強化
- ・施設整備の推進
- ・高校進学への支援

### (2)生涯学習の推進

#### ①学習・文化・スポーツ活動の活性化

- ・総合型地域スポーツクラブの運営支援
- ・活動組織の活性化
- ・施設の機能向上と利用促進
- ・郷土文化の継承ほか

#### ②人権教育の推進

- ・人権教育推進協議会の運営
- ・相談支援の実施ほか

#### ③青少年健全育成の推進

- ・地区活動の充実
- ・補導パトロールの実施
- ・青少年健全育成センター及び専門補導員との連携ほか

## 【平成29年度の重要事項】

### (1)学校教育ICT設備の整備業務（かつうら創生総合戦略関連）

今の子どもたちが社会人となる時代は、全てのモノがインターネットにつながるIoT社会が到来する。このことから、次期学習指導要領に示された不可欠な条件整備の一つに「ICT環境の整備」が挙げられており、ICTは黒板・ノートや鉛筆と同じと見なされている。さらに、「全ての学習の基盤となる力」として、「言語能力(読解力等)」のつぎに「情報活用能力(プログラミング的思考やICTを活用する力を含む)」が挙げられている。

さらには、目まぐるしいスピードで進化している情報化社会に対応可能な人材育成にも取り組むため、「学校教育におけるICT設備」を「教職員の校務支援システムの構築」と並行して具体的なシステム設計に取掛かる。

### (2)阿南市方面への通学用交通手段の確保（かつうら創生総合戦略関連）

徳島県立高等学校普通科の通学区域内でありながら、公共交通機関の空白区域である阿南市方面に通学する生徒の交通手段確保策について、一昨年より生徒の利便性確保と保護者の時間的・経済的負担の軽減や、他の地域とのバランスに配慮しながら研究をしてきた。その結果、保護者会の協力をも得ながら、町営による通学専用バスの運行を開始する。また、町内の旅客運送業者に運行委託形式とすることで、安定運行と定着化を図っていく。

### (3)外国語指導助手(ALT)のサポート体制強化(勝浦町総合計画後期基本計画関連)

小学校では平成32年度、中学校では平成33年度から全面実施される次期学習指導要領の柱として、小学校では「外国語活動の学習開始学年引き下げ及び5・6年生での英語教科化」、中学校では「原則、英語の授業は英語で行う」と記されている。さらには、来年度の移行期間からの先行実施が現実化しており、対応準備のピッチを上げる必要がある。

児童生徒の英語力向上と、教師の語学力・指導力向上を狙いとして、外国語指導助手(ALT)を現在の1名から2名体制に増員し、さらなる英語教育の強化・推進を図っていく。

### (4)学習環境の充実(両小学校への空調設備整備に向けて)

近年の環境変化は目まぐるしく、特に猛暑や豪雨といった夏季の気候変動には著しいものがあり、学校における学習環境にも大きな変化をもたらしている。一方では、次期学習指導要領で小学校の中・高学年では35時間/年間の授業時間増加が決定しており、時間創造が全国的な課題となっている。

こういった課題解決に向け、また、児童の学習環境の一層整備に向け、各教室の空調設備の充実に取り組むこととする。本年度はその準備段階として空調設備設置工事設計業務委託を発注することとし、設備投資額・ランニングコストの算出等に取り掛かる。

### (5)全国学力・学習状況調査並びに徳島県学力ステップアップテストの活用

標記学力調査の結果分析を行い、子どもたちの学力のより一層向上策に活用する。

- ・全国学力・学習状況調査(文部科学省)は年一回、小学6年生を対象に学力は国語・算数、中学3年生を対象に学力は国語・数学で実施される。
- ・徳島県学力ステップアップテスト(徳島県教育委員会)は年2回、小学4・5年生(2回目は6年生を追加)を対象に国語・算数・質問紙、中学1・2年生を対象に国語・数学・質問紙で実施される。